

大豆 whey 水の有効利用による有機汚泥の削減及び オカラの酵素分解による食品への添加に関する研究

株式会社 棚橋食品

事業目的	<p>1. 大豆 whey 水の有効利用による有機汚泥の削減（以下「大豆 whey 水」という。） 排水として処理している大豆 whey 水(豆腐及び油揚げ生地製造工程中に発生する大豆有効成分を含有した富養水)を再利用して、大豆成分の有効再利用を図るとともに、産業廃棄物処理に係る負担を軽減する。</p> <p>2. オカラの酵素分解による食品への添加（以下「酵素分解」という。） 土壌改良剤の原料として処理しているオカラを酵素分解による形態を変化させ、食品の用途に応じた再利用をし、産業廃棄物処理に係る負担を軽減する。</p>
事業概要	<p>1. 大豆 whey 水 (1) 大豆 whey 水の分析による大豆有効成分の調査と確認 (2) 大豆 whey 水の化粧品類への有効利用の可能性</p> <p>2. 酵素分解 (1) 酵素による各分解レベルの検討 (2) 各形態に応じた他食品への添加の可能性</p>
事業結果	<p>1 大豆 whey 水 (1) 大豆 whey 水の分析による大豆有効成分の調査と確認 ア 大豆 whey 水の有効成分含有量を社団法人日本油脂科検定協会に検定依頼した。検定結果として、大豆 whey 水にはイソフラボン等大豆の有効成分が溶け込んでいることが確認できた。 イ 化粧品製造会社に依頼して、一部試作を製造した。 ウ 使用による効果の現地確認 (ア) イソフラボンによる美白、保湿、潤い等の作用 (イ) パッチテストによる安全性の確認 (2) 大豆 whey 水の化粧品類への有効利用の可能性 自社独自販売チャネルを利用したモニタリングによる各効果の把握を行なった。 ア 大豆 whey 水が、各種化粧品類に効果・効能に及ぼす影響 イ 各化粧品類毎に期待する効果を把握した。 (ア) 洗顔石鹸、ボディソープ 汚れ落ち、爽快感、使用後の保湿 (イ) 乳液・ローション 保湿、潤い、美白 (ウ) シャンプー・リンス 汚れ落ち、保湿</p> <p>2 酵素分解 (1) 酵素による各分解レベル(マッシュ状態、クリーム状態及び半液体状態)の温度、時間、容量等を把握した。 (2) 各形態に応じた他食品への添加の可能性について其々配合を行なった。 ア 各種液状態(マッシュルーム、クリーム、半液体) イ 粉末状態 ウ 麺、食品添加剤</p>

<p>今後の課題</p>	<p>1. 大豆 whey 水 大豆イソフラボンが配合された化粧品や健康補助食品は多数存在するが、豆乳を更に精選した Whey を使用しているのは当社のみなので、今後は更に広報に力を入れて世間に知らしめる事による売上向上を図りたい。また、次期商品の研究開発も検討している。</p> <p>2. 酵素分解 オカラを酵素分解する事により製造するオカラ豆乳は、当初こちらが予想していた以上に生菌数が残存しており、この対処要領が現在のところ非常に難しいと思われる。一般のカット豆腐を製造する際に行なう加熱処理では、オカラ豆乳に対して温度が低い為、効果が得られない。また、加熱温度を上げることにより豆腐の食感が損なわれる為、その節調を計ることが難しい。 このため、高温加熱による殺菌ではなく、アルカリ処理による生菌数の漸減を行う為の製造実験を行なっているが、時間がかかる予定である。</p>
--------------	--

<p>補助年度以降の状況</p>	<p>1. 大豆 whey 水 大豆 whey 水を使用した化粧品類は、当初の研究段階から美容特に美白や保湿に関して、効果が大いに期待できるとの評価を得たため、会社設立とともに販売を開始した。しかしながら、販売チャンネルが限定されている事、知名度が低い事等現時点では結果が得られていない。 今後は、雑誌・新聞等への掲載やマスメディアへの取り上げ等広報宣伝に力をいれて知名度を高める必要がある。</p> <p>(1) 企業化 平成 18 年 2 月、株式会社ソイアスを設立。</p> <p>(2) 販売促進状況 ア 自社販促状況 (ア) ホームページの開設及び化粧品関連ホームページへの掲載 (イ) 既存取引店に対する会社及び商品説明 (ウ) 大手化粧品会社との提携 イ 滋賀県新産業市場開拓トライアルへの参加</p> <p>2. 酵素分解 (1) 新製品の研究開発 特許であるオカラ蒟蒻を使用した新たな商品開発 (2) 官能試験の継続実施 (3) 焼成カルシウムを使用した滅菌と日持ち試験</p>
------------------	---